

北消協第 11号
平成19年 4月 5日

北海道電力 株式会社
取締役社長 近藤 龍夫 様

社団法人 北海道消費者協会
会長 辻 富美子

火力発電所のデータ改ざんに係る申し入れ

- 一 御社は、国の指示に基づく発電施設の点検で、火力発電所5カ所において、「取水量」「温排水量」「ばい煙濃度」測定データの一部を改ざんしていたと発表した。一連の行為は、社会ルールや法令を組織的・意図的に踏みにじり、公益産業である電力事業者の社会的信頼を裏切る行為で、消費者に大きな不安と不信感を与えた。厳重に抗議すると同時に原因の徹底的な究明と抜本的な再発防止策の確立を申し入れる。
 - 一 全国各地で、原子力発電所の事故隠しが相次いで発覚している。御社、火力発電所のデータ改ざんにより、原子力発電所でも同様なことがないか道民は疑念を抱いている。原子力発電所の事故は壊滅的な災害を招きかねず、改めて原子力発電所の総点検を、徹底的に進めると共に点検結果を明らかにすることを強く求める。
- 以上について回答を求める。